

※「敬老の日に関する高齢者のニーズ調査」レポート

2020年9月8日

今年の敬老の日は9月21日(月・祝)!

「敬老の日に関する高齢者のニーズ調査」を実施

～シニアの約6割が“視力の衰え”による新聞や雑誌などの見えにくさを実感～

社 長：宮本 彰
証券コード：7962

株式会社キングジム(本社:東京都千代田区)は、高齢者の前向きな暮らしをサポートするシニア向け製品ブランド「arema(アレマ)」シリーズを開発・販売しています。このたび、お子さまがいる60～79歳のシニア400名を対象に「敬老の日に関する高齢者のニーズ調査」を実施しました。

◆調査期間:2020年8月6日～11日 ◆調査対象:60～79歳 400名 ◆調査方法:インターネット

調査結果ピックアップ

- ・シニアのおよそ2人に1人が家族に「敬老の日」をお祝いされたら嬉しい!
- ・約9割のシニアが、普段の生活の中で見えにくさを体感している
— 日常で最も見えにくさを感じる時は「**新聞や雑誌、本などを読む時**」
- ・およそ3人に1人が「**会話をする時**」に聞こえにくさを感じると回答
- ・実施したい終活1位は「**持ち物の整理**」
— 終活をしたいと思っている人75.8%に対し、実際に終活を行っている方は10.0%

■ シニアの2人に1人が「敬老の日」をお祝いされたら嬉しい!

「ご家族に敬老の日をお祝いされたら嬉しいか」聞いたところ、**47.0%の方が「嬉しい」と回答**しました。

一方で「ご家族に敬老の日をお祝いされたことがある」方は33.0%となり、お祝いされるのは嬉しいが**実際にお祝いをされた経験のある方の数とは差がある**ことが分かりました。

「孫から届く手紙が嬉しかった。(75歳・千葉県)」、「おしゃれな拡大鏡が欲しい。(61歳・大阪府)」、「品物を貰うより一緒に出かけたりする方が嬉しい。(67歳・千葉県)」など、お祝いの方法やプレゼントで欲しい物、嬉しかったことには個人差があるようです。

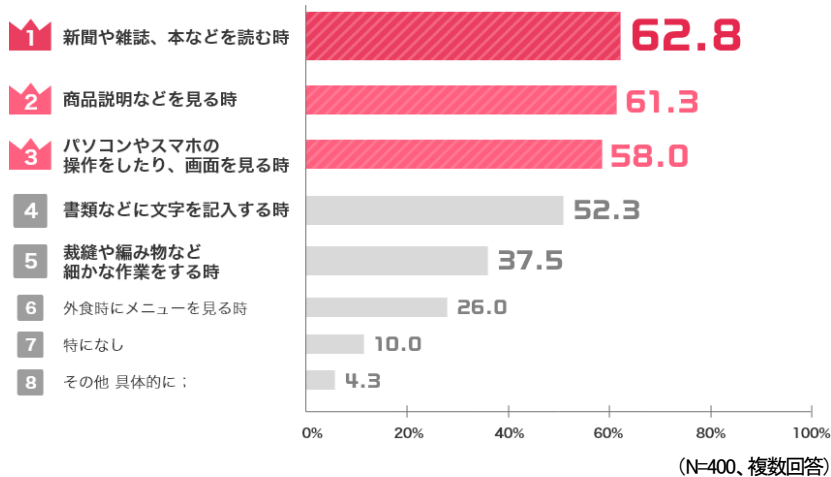


■ 約 9 割のシニアが、普段の生活の中で見えにくさを体感している

「普段の生活の中で、見えにくさを感じる時として、あてはまるもの」(複数回答)を聞いたところ、「新聞や雑誌、本などを読む時」が 62.8%となりました。「商品説明などを見る時」が 61.3%、「パソコンやスマホの操作をしたり、画面を見る時」が 58.0%など、**全体の約 9 割の方が普段の生活の中で何らかの見えにくさを感じている**ようです。

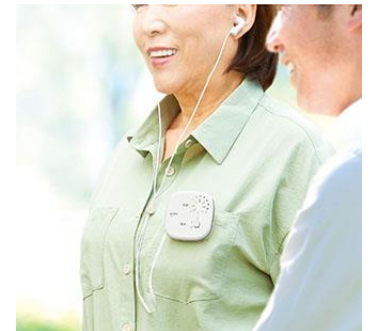
「足の爪を切るとき。(65 歳・滋賀県)」、「買い物時に賞味期限を見る時。(73 歳・東京都)」、「ゴルフボールを目で追うとき。(75 歳・大阪府)」などの具体的なシーンも挙げられました。

普段の生活の中で、見えづらさを感じる時としてあてはまるものをお知らせください。



■ およそ 3 人に 1 人が「会話をする時」に聞こえにくさを感じると回答

「普段の生活の中で、聞こえにくさを感じるのはどんな場面か」(複数回答)を聞いたところ、「会話をする時」が 35.0%、「テレビを見る時」が 34.8%となりました。その他にも「電話中の声が聞こえにくい。(70 歳・福島県)」、「声は聞こえても何を言っているのか判らない。(63 歳・兵庫県)」、「体温計のアラームが聞こえない。(67 歳・神奈川県)」など、耳の聞こえにくさによって**日常生活で不便**を感じているといった回答が目立ちました。



■ 実施したい終活 1 位は「持ち物の整理」

終活とは、「人生の終わりのときを意識しながら、葬儀や墓、遺言作成などを生前から準備すること」を指し、近年シニアの中で注目されている取り組みのうちの 1 つです。

「終活に関する取り組み状況」については、「終活を行っている」と回答した方は 10.0%だった一方で、「具体的には考えていないが、いつかは終活できればと思っている」など**終活の必要性を感じている方は 75.8%**でした。

また、「今後実施したい終活」(複数回答)を聞いたところ、「**持ち物の整理**」が 78.5%、「**財産の整理**」が 47.8%となりました。

「終活をするにあたってシュレツダーが欲しいと思うようになった。(61 歳・愛知県)」、「使いやすく整理しやすい終活ツールが欲しい。(73 歳・広島県)」など、終活グッズに関心のあるシニアの意見も見られました。

具体的には考えていないが、いつかは終活できればと思っている	35.0%
時期は未定だが、終活をしたいと思っている	27.3%
近いうちに、終活をしたいと思っている	13.5%
終活はする予定はない(必要はないと思っている)	10.5%
終活を行っている	10.0%
終活で何をすべきなのかよくわからない	3.7%

(N=400)



■ 敬老の日のプレゼントに最適な、『arema (アレマ)』シリーズ

『arema(アレマ)』は、「暮らしに“あれま”の驚きを」をコンセプトに、アクティブシニアの前向きな暮らしをサポートするブランドです。ちょっとした工夫やアイデアで、なにげない日々には驚きや感心、喜びを得られるような、張り合いのある日常を過ごしていただきたいという思いをブランド名に込め、2020年3月よりシリーズを展開しています。

arema
暮らしに“あれま”の驚きを

物の見やすさをサポートする製品として、「メガネ型拡大鏡」と「ライト付き拡大鏡」をラインアップしています。

「メガネ型拡大鏡」は、柔軟性の高いツルを使用しているため壊れにくく、日常的に使いやすい拡大鏡です。

「ライト付き拡大鏡」は、超軽量のアクリルレンズを使用したハンディタイプの拡大鏡です。明るさの調節が可能な12個のLEDライトが付いていて、拡大部分がより見えやすくなります。

また、耳の聞こえにくさを解消する製品として、「集音器」と「お手元スピーカー」を揃えています。

「集音器」は、イヤホンで音楽を聴いているような自然な見た目で、抵抗感なくお使いいただけます。

「お手元スピーカー」は、テレビの音を自分だけ大きくして聞きたいときに最適なスピーカーで、災害時にも活用できるラジオ機能付きです。

さらに、通帳や印鑑の整理に便利な「自分まとめファイル」は、終活にも活用できます。通帳や年金手帳を収納できる“ポケットファイル”と印鑑などの立体物を収納できる“フリーボックス”の2冊1組のセットで、大切なものをまとめて保管することが可能です。



「ライト付き拡大鏡」



「お手元スピーカー」



「自分まとめファイル」

キングジムでは「敬老の日に関する高齢者のニーズ調査」を今後の商品開発に活かし、今後も新ブランド『arema(アレマ)』シリーズの製品を継続的に展開することにより、シニア市場の獲得を目指してまいります。今回ご紹介した製品以外にも、シニア市場に向けた製品を以下のサイトにてご紹介していますので、是非ご覧ください。

敬老の日特設サイト・・・https://www.kingjim.co.jp/sp/senior_gift/